ドリームだより

春号　令和４年　３月発行

　周りの山々にまだ雪が残っていますが、少しづつ暖かくなってきています。早番で出勤すると、天気の良い日には山から太陽が出てくる場面も見られ、暖かい日差しをありがたく受け取り、１日の活力にしています。

　１月はいく、２月はにげる、３月はさる、という言葉があります。年が明けてから１日１日がとても早く過ぎていく感じがします。学年末、年度末慌ただしい日が続きますが、無理のないように、園生活、学校生活、お仕事などに励んでください。新学期、新学年、新生活が今年度より、楽しく明るいものになりますように願っています。

　コロナワクチン３回目摂取が進んでいます。私たちげんきキッズクリニックのスタッフ一同と、げんき夢こども園の職員一同は全員が３回目の接種を無事に終えることができました。接種が終わってもまだ油断はできません。引き続き予防に努めてまいりたいと思います。

★☆ある日の病児室★☆

・姉弟のきょうだいでご利用でした。この日は、症状が違いますが、きょうだいなので同じ部屋でも良かったのですが、「いつもけんかするからちがうへやでいい。」とお姉ちゃん。おままごとをしたり、折り紙をしたり、遊びを見つけて楽しんでいました。時々、「〇〇(弟の名前)と遊びたいな。」と弟を思い出していました。弟くんの事が大好きなんだな、と思った１日でした。

・給食の時間、離乳食もおいしく食べ終わり「ごちそうさま。」に。保育士の給食がまだ残っているのを見つけた男の子。(それたべたい。)と泣いて伝えてくれました。そこへ食後のミルクが届けられると、(はやくー。)と哺乳瓶に吸いつくのでした。幸せそうに飲む姿がとてもかわいかったです。

日々、子ども達のかわいい姿に癒されているスタッフです。

☆★小児科Ｄｒ．宮本の連載コラム☆★

発達障害が気になる場合

　うまく相手の気持ちを読み取る事ができない、落ち着きがない、整理整頓が苦手、忘れ物や紛失物が多いなどの不注意、読み・書き・計算など学習面の困難さなどがあると発達障害が疑われます。医療機関は診断だけで終わりません。検査などをすることで客観的な指標をもとに、お子さんの生きづらさについて少しでも楽になるようにお話をします。

　例えば聴覚系が弱い(耳からの情報が伝わりづらい)タイプの場合は、お子さんが何かをしているときに声をかけても反応しない事を経験すると思います。無視されたと勘違いをするかもしれませんが、本人の特性がわかると親や先生は落ち着いて対応できます。子育てに困っている、生きづらさを感じている場合は医療も加えてください。

・小学生の時期にいちばん大切なのは「規則正しい生活」を身につけさせることです。寝るのが遅く、朝起きることができず困っているご家庭もあるかと思います。早く寝かせるためには、お子さんと一緒に両親も寝ることです。朝早めに起きて家事をしたり、家事の内容を見直して、子どもに家事を手伝ってもらうのはいかがでしょう。小さいことから手伝ってもらい、褒めることが大切です。家族の一員として役立つ経験や認めてもらえるということは、子どもの自己肯定感を高めることにつながります。

＊ちびっこぷれす　２０２２年２月号より引用

☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆

げんきキッズクリニック　げんきゆめほいくえん

病児保育室　ドリーム

山梨県中巨摩郡昭和町河東中島７４８－１

TEL:055-268-5578　FAX:055-268-5598

http://genkikids-clinic.com/

ホームページより各種用紙（登録申込書・利用申込書・連絡票）がダウンロードできます